

## 「労使共同宣言」の失効通告を受けたJR東労組!!

### ～ JR東日本会社は、労使共同宣言の趣旨に反したとして失効を通告！～

JR 東日本会社は、1987年8月の「労使共同宣言」から4回にわたりJR東労組との共同宣言を締結してきた。直近では、2001年8月に「21世紀労使共同宣言」を締結し、いずれも「健全で安定した労使関係」「会社内の問題は平和裡かつ労使間の真摯な話し合いで解決」とうたっている。JR 東日本における労使共同宣言の原点は、国鉄時代の階級的労働運動へ回帰させないことであり、JR 東日本の本質的な企業内労働組合としての構築であったと思う。

そのような労使共同宣言の趣旨を無視するかのようになり、JR東労組はスト権の行使を通告し、それを盾にして交渉に臨もうとした。一方会社側は、「会社内の問題は平和裡かつ労使間の真摯な話し合いで解決しよう」と再三オ申入れをしたようだが、受け入れられなかったようだ。その結果、JR東日本内でのスト権騒動は拡大し、新聞やメディアで大々的に報道されてしまった。JR東日本会社は、このような事態を重く受け止め、労使共同宣言からの労使間の信義に反するとして、失効を通告した。

## ネットで騒然！JR東日本内でスト実施と!!

### 労使共同宣言に基づく交渉の背景に、スト権の確立・行使は当たり前か？

ネットで「JR東労組 スト ツイッター」で検索してみた。すごい一言！様々な見方考え方があつた中で、目立ってツイートされていたのが、東労組への過激派革マル派の浸透問題です。国鉄時代の負の遺産が、今でも残されているのを多くのツイッターの方々が語っていました。今回のスト騒動は、そういった背景があつたことだろうと、考えざるを得なくなりました。

また、22日 川合孝典参議院議員の質問主意書に答弁した「JR東労組内に革マル派活動家が、影響を行使し得る立場に相当浸透していると認識している」と政府の見解も記載されており、JRになって何度も政府が認識しているのに、なぜ変わらないのかと疑問を呈している書き込みもありました。

国鉄を変革してきたのであれば、インフラ企業として締結した労使共同宣言からは、スト権を背景にした交渉戦術は馴染まないのではないのでしょうか。国鉄改革は一部分の改革ではなく、国鉄からJRへ国民の期待を受けた責任ある変革であつたはず。そういった意味での「労使共同宣言」は、今こそ変革させるべきと考えます。

**次の30年へ、社員減少で継承が難しくなる今こそ、**

**労使間の相互理解、相互信頼を強め、乗り越えていかなければならない!!**